



# 小火器射撃

令和5年12月6日



海上自衛隊が保有する小火器の一つである64式小銃を使用した射撃訓練を実施しました。射撃の実施にあたり、小銃取扱法や射撃実施要領について十分に教育、訓練を行いました。射撃当日についても、事故防止のための様々な措置を講じ、徹底した安全管理の下、実施しました。



不測の事態に備え、射手1名に対し教官が1名ずつ付いて万全の態勢で射撃を行います。



標的側の様子です。射撃が行われている間、安全な部屋の中で待機し、射撃終了後、標的がある場所に行き、採点や標的の修正などを行います。

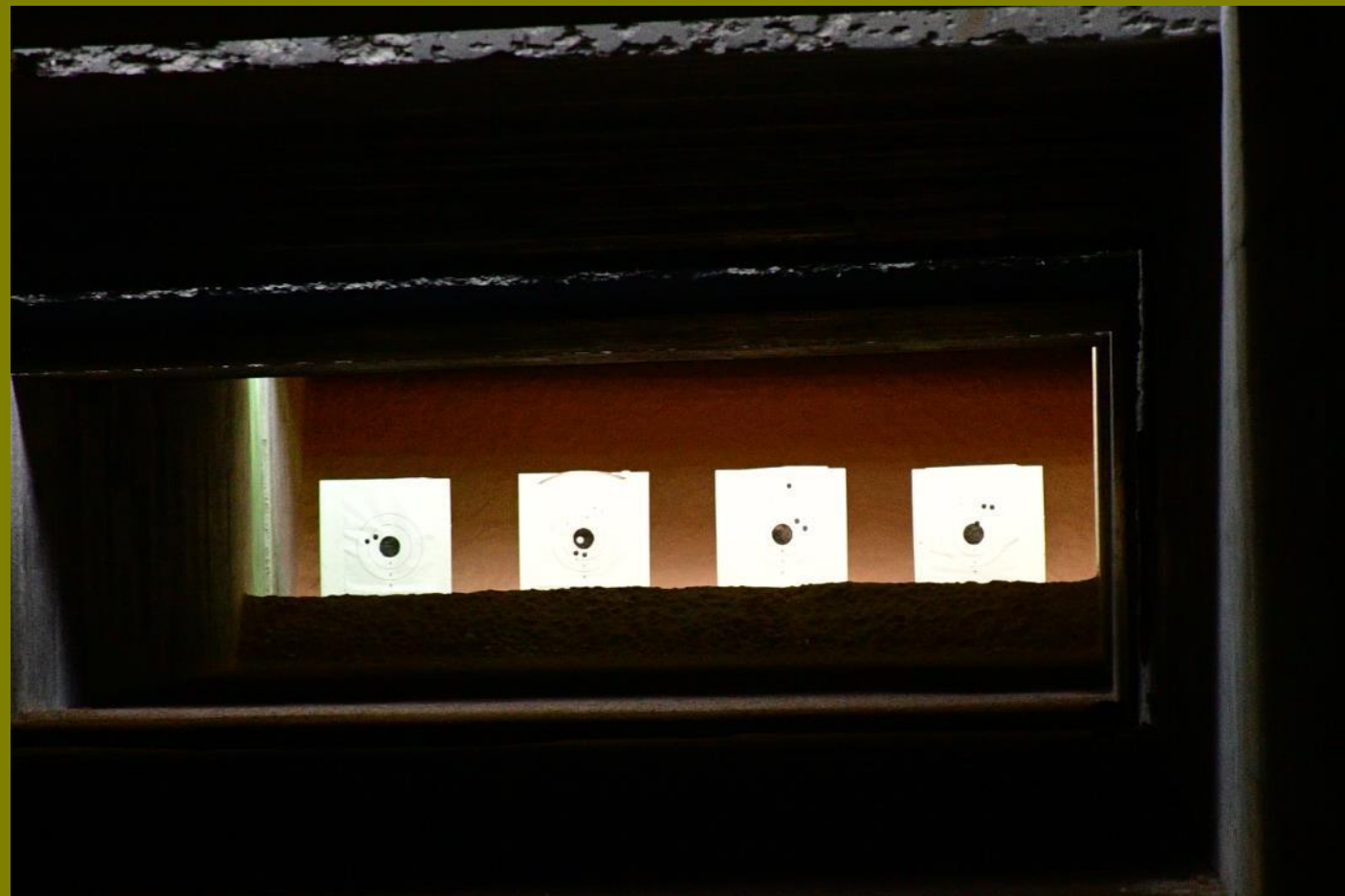


標的がある部屋に行く際は、インターホンで射座（射撃する場所）と連絡を取ると同時に真ん中の写真のスイッチで操作し、射座にあるランプを切り替え、見えるようにして間違いが起きないようにします。逆の場合も同様の手続きをします。



標的がある部屋に移動したら、機会を操作して標的を上げ下げし、修正等を行います。





射座では、初めに3発の射撃を行い、弾着点をマーキングされ降りてきた標的を双眼鏡で確認して、用紙に書き込み、銃の修正を行ってから、本射撃という流れで射撃を行いました。中には2発しか表示していない標的もありますが、弾着点の距離が近すぎてマーキングの鉤を打てない場合もあります。要は腕が良いってことです。



訓練は終始厳正な雰囲気の中実施されました。残念ながらあまり顔を写すことはできませんでしたが、学生達の表情は真剣そのもので、銃と実弾を扱っているということを十分に自覚して緊張感ある態度で訓練に臨んでいました。いい点数が取れているといいですね。